今年度を振り返って

総合学習センター所長　稲葉　茂

平成２１年度も残すところ半月となりました。今年度の各種センター事業に対してご理解ご協力頂きましたことを心より感謝申しあげます。

今年度を振り返り、成果と課題を次のように整理してみました。

【平成２１年度の成果】

（１） 学習支援班関係

○ 市民大学業務の相模原・町田地域大学コンソーシアムへの委託により受講者増が図れた。

○ 市民講座の創造による「学びのライブ塾」が実施され好評を得た。

○ 学校と地域の協働推進事業の充実に努め「学校と地域の協働推進コーディネータ」制度を策定した。

（２） 研究・研修班関係

○ 政令市移行を見通した教職員研修体系検討委員会を設置し研修体系を見直した。

○ 研修案内のシラバス化及び研修内容の効果測定実施について検討した。

○ さがみ風っ子教師塾を開塾した。

（３） 学習情報班関係

○ ネットパトロールを実施した。

○ センターホームページをリニューアルし、内容充実に努めた。

○ 校内ＬＡＮ事業に着手し、新しい学習環境整備に努めた。

【平成２１年度の課題】

生涯学習社会の実現に向け学社連携・協働の推進を運営方針に掲げ各事業に取り組んだが、次のような課題も残された。

● 市民の学習機会の充実に向けた講座内容の見直しやＰＲの推進

● 学校の研修負担感の軽減及び学校支援研修の充実

● 有害サイトへの対応及び校内セキュリティポリシーの評価改善

平成２２年度から相模原市は「政令指定都市」となります。次年度も総合学習センターでは、生涯学習社会の実現に向け「市民ならびに学校教育に対するニーズ」を的確に把握し、各種事業に職員一同精力的に取り組んで行きたいと考えております。来年度もみなさまのご支援ご協力をお願い申しあげます。

教職員研修体系が変わります

相模原市は、平成２２年４月に政令指定都市へ移行します。これまで以上に市としての主体性を発揮することが望まれ、どのように子どもたちを育み、そのためにどのような資質能力を先生方に身につけていただくかが問われてくることになります。

また団塊の世代の大量退職により、若手教職員の計画的な人材育成が急務となります。さらに時代の変化や、子どもを取りまく環境の変化による、様々な教育課題への柔軟な指導力を養う研修の充実も必要となります。

こうした中、総合学習センターでは、平成２１年６月、「相模原市立学校教職員研修体系検討会」を設置しました。教職員一人ひとりに、将来を見据えたさがみはら教育を推進する原動力として活躍していただくために、教職員に求められる資質能力を再考し、教職員研修体系の再編・整備の方向性について検討を重ねてきました。

平成２２年度教職員研修についての変更点は次ののとおりです。

● 教職員研修体系を再編・整備しました！

・教職員に求められる資質能力の明確化
・研修カテゴリーごとに研修の重点化
・教職員研修体系の再構築
・養護教諭研修、栄養職員研修を本市で実施

● 研修効果測定と研修内容の見直しシステムを構築しました！

・シラバス型の「研修講座案内」の作成
・研修実施後の受講者アンケートの改善
・研修効果を基にした次年度研修計画の見直し

年度当初に各学校へ配付する「研修講座案内」には、各研修講座がシラバス形式で掲載されています。日時や対象者・内容のみでなく、研修を受講することで何が学べるかがわかるように表記されています。

教職員のみなさまには、ぜひご覧いただき、総合学習センター主催研修講座への積極的な参加をお待ちしています。

なお平成２２年度「研修講座案内」は総合学習センターホームページにも掲載する予定です。